

# 遺愛の気合い入れのかけ声 『がんばっていきましょい!』

4月12日の対面式で突然『がんばっていきましょい!』が始まったので、びっくりした新入生の皆さんもいたかもしれません。

ずいぶん前に『がんばっていきましょい!』という青春ドラマがありました。愛媛県松山市出身の敷村良子さんの同名の小説『がんばっていきましょい!』が1995年に『坊ちゃん文学賞』を受賞し、1998年に映画化、2005年にTVドラマ化したものです。



愛媛の高校を舞台にしたドラマで、主人公の女子高生は中学時代、何でも中途半端でした。何でもできる姉といつも比較され、親ともうまくいかず、高校に入ったら自分を変えようと考えます。

『深い深い友達がほしい。濃い濃い高校生活をおくりたい。』と思い、ボート部に入ります。女子部員は1人もいなくて、部員集めから始め、最後3年生では全国大会にまで出場するというドラマです。いろいろな出来事を通し、深い友情と濃い高校生活を彼女は本当に手に入れています。

実は、この『がんばっていきましょい!』は、敷村さんの出身校である松山東高校が発祥で、1966年から入学式、体育の授業の始まりにやっています。私は、この3月末に愛媛の松山東高校まで行って記念写真を撮ってきました。

遺愛では2010年から、対面式、壮行式、遺愛祭、体育祭、修学旅行の見送り、予餞会などで、生徒の皆さんの協力を得て、この気合いのかけ声を発してきました。遺愛の先輩達は、様々な行事、部活動、ボランティアを通して、本当に深い友情と濃い高校生活を手に入っていました。遺愛では90%以上の生徒さんが



が何かの部活に所属しています。「ぜひこれっ!」という部活を見つけて入部し、皆さんにも深い深い友情を築き、濃い濃い中学・高校生をおくってほしいと願います。

2024年4月15日 (月)